

## 楊枝用法

〔嬉遊笑覽服飾〕二中そぎやうじ略中 これは杉の割木なるべし。

〔九條殿遺誠〕遺誠并日中行事造次可

先起稱屬星名號七遍微音其七星食狼者子年巨門者丑亥年祿存者寅戌年文曲者卯酉年廉貞者辰申年武曲者巳未年破軍者午年 次取鏡見面次見曆知日吉凶次取楊枝向西洗手略下

〔類聚名物考調度十〕楊枝 やうじ

やうじをもて、齒を刺、口そぐ事、すでに天曆の比より見えたり、九條殿遺誠ハ、その比の物なるに、そのうちに見えたれば、そのまへつかたより有しこと、見ゆ。

〔南海寄歸内法傳〕八朝嚼齒木

毎日旦朝須嚼齒木揩齒刮舌務令如法盥漱清淨方行敬禮若其不然受禮禮他悉皆得罪其齒木者梵云憚哆家瑟託憚哆譯之爲齒家瑟託即是其木長十二指短不減八指大如小指一頭緩須熟嚼良久淨刷牙關略中亦既用罷即可俱洗棄之屏處略中近山莊者則杵條葛蔓爲先處平嚼者即楮桃槐柳隨意預收備擬無令闕乏濕者即須他授乾者許自執持少壯者任取嚼之耆宿者乃椎頭使碎其木條以苦澀辛辣者爲佳嚼頭成絮者爲最麤胡菜根極爲精也即入地二寸堅齒口香消食去齧用之半月口氣頓除牙疼齒癪三旬即癒要須熟嚼淨揩令涎齧流出多水淨漱略中豈容不識齒木名作楊枝西國柳樹全稀譯者輒傳斯號佛齒木樹實非楊柳那爛陀寺目自親觀既不取信於他聞者亦無勞致惑略下

〔禁秘御抄上〕一恒例毎日次第

抑御手水は、近代内侍内々供之、昔女官所獻也、今前後不定之間不用之、主水司供之、御手水女官昇之參立御手水間前女官申御手水まいらせ候はん、女房あといふ、女官御楊枝二ヲ雙指御簾、まかりいたしまいらせ候はんといふ也、又女房あといふなり、